

WG 今後の活動について

2014.09.24

迷惑メール対策推進協議会
送信ドメイン認証技術 WG

今後の活動内容

- なりすましメール撲滅のために
 - 送信ドメイン認証技術のさらなる普及
 - 送信ドメイン認証技術の普及促進のために実効性のある技術の導入を促す
- 迷惑メール対策の強化
 - セキュリティ的な脅威が高まる中でのメールシステムが果たすべき役割
 - 新たな迷惑メール送信手法への対応

今後の検討課題

- DMARC + Domain Reputation
- メールサーバ踏み台問題への対応
- その他の技術的対策
 - フィッシング対策の入り口としての迷惑メール対策 (なりすましECサイト問題等)
 - セキュリティ的に好ましくない古いシステムの刷新
 - その他新たな脅威に対して迅速に対応するための情報共有などの体制

DMARC + Reputation

- 目的

- 正しく送信者情報を設定した、受け取るべきメールを確実に受信者に届ける

- 手法

- 送信ドメイン認証技術 (SPF, DKIM) の認証結果と、受信者が参照できる送信者情報 (RFC5322.From) を元に送信者をドメイン単位で確認 (認証) する

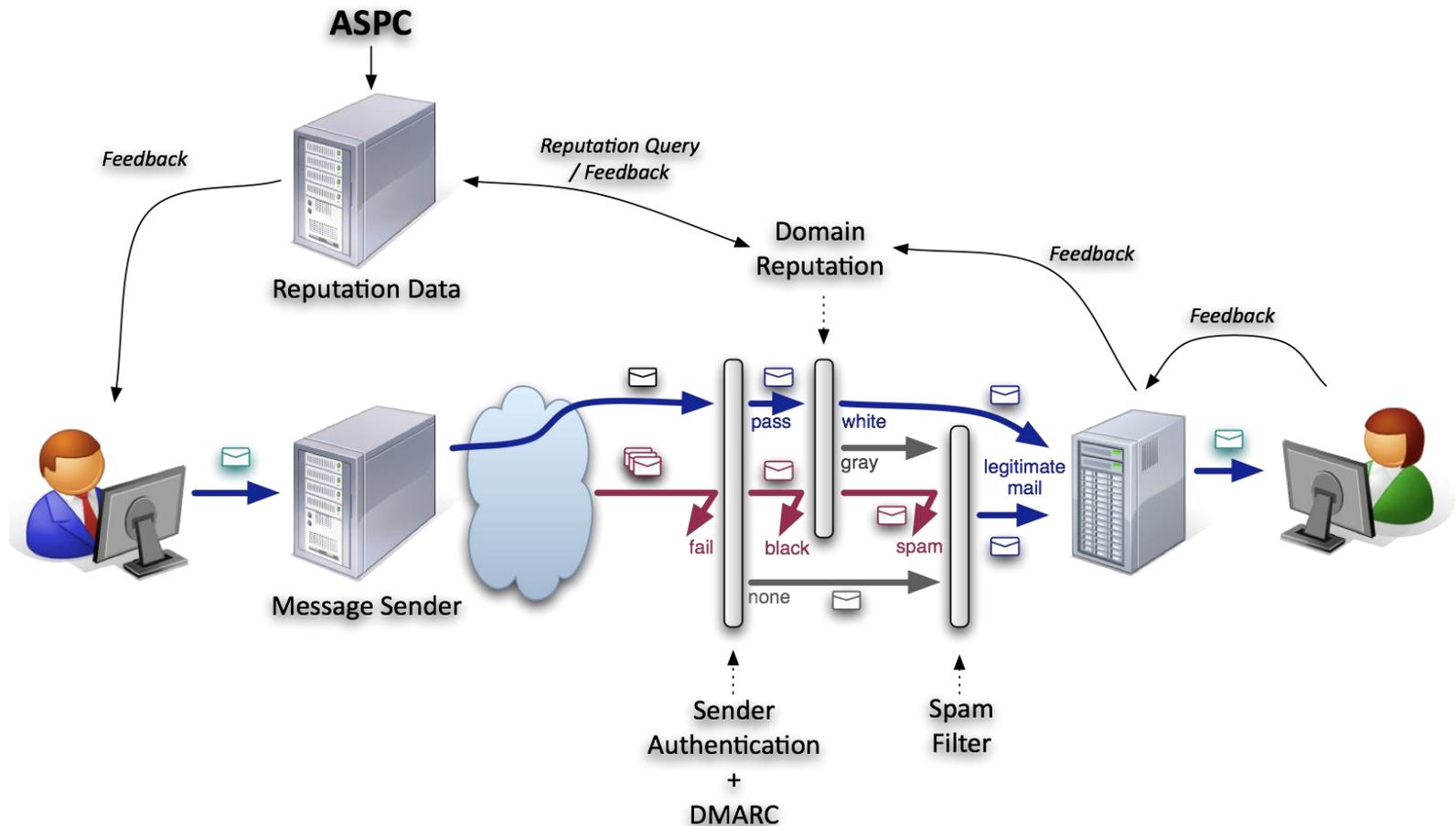
- DMARC

- 認証されたドメインを評価して受け取るべきメールを判断する

- Domain Reputation

DMARC + Reputation

- 導入イメージ



踏み台問題への対応

- 背景
 - 迷惑メール送信対策が進んだ結果、送信用メールサーバが不正利用されるまで悪用が進む
 - 多くは ID/password を搾取し不正利用している
 - 他の認証システムとの関係も大きい (セキュリティ的な影響が大)
- 対応の検討方針案
 - 現状、実効性のある対策が存在しない
 - 各社の対策手法や効果、利用者などへの影響を集約し、対策手法の共有化を行う
 - Best Practices としてまとめて広く共有していく